



府中・生活者ネットワーク 西のなお美、奥村さち子の活動を紹介します。



## 西のなお美

### プロフィール

広島市生まれ。  
広島県立女子大学卒業。  
1995年より府中在住。  
長女出産後、市内の銀粘土メーカーに勤務。2度の育児休暇取得し、仕事を続ける。  
2011年、持続可能な暮らしを目指す草の根運動「トランジションタウン府中」設立。  
2015年より府中市議会議員。  
緑町在住(49歳)  
家族は、夫、長女(大学生)、次女(高校生)、長男(小学生)



## 奥村さち子

### プロフィール

東京都武蔵野市生まれ。  
都立八王子東高校卒。  
ビジネス系専門学校卒業後、コンピューター・計測機器メーカー勤務。  
結婚後府中市に転居。  
市内福祉系 NPO 法人理事、事務局長。  
府中市市民協働推進会議委員(2期)。  
都内福祉系 NPO 法人副理事長。  
北山町在住(55歳)  
家族:夫・長男・次男・義母  
趣味:映画鑑賞 美術館めぐり

# 大事なことは市民が決める

「市民の声が生きるまち」を目指して、

府中・生活者ネットワークは

2019年市議会議員選挙に向けて

西のなお美、奥村さち子の擁立を決定しました。

### ◆「ひごと」提案や調査活動が基本

府中・生活者ネットワークは、市民の視点で暮らしの中の様々な課題を市政につき、解決しようとする調査活動を基に、政策を作り、議会で発言しています。

28年間の活動の中で継続的に「ひごと提案」を募り、たくさんのご意見が寄せられました。また、「学校のトイレ」「防災」「住まい・空き家問題」など数々のアンケート調査を行ない、見えてきた課題をまとめ政策提案につなげてきました。

### ◆「わくわくまちづくりトーク」で議会報告

議会報告と、参加者との意見交換を議会后に必ず行なっています。11月7日には、9月議会の報告のほかに、出席者の方々が関わる地域サロンなどの状況を共有し、地域活動を拡げていくには、「人・場所・お金」が重要という意見がありました。また、「学校施設老朽化による建て替えの際には、避難所になることを想定した設計が必要」という意見など、参加者のまちづくりへの想いを聞く事ができました。



## 2期目のチャレンジに向けて

西の なお美

市議会議員として、活動をスタートして3年半が経ちました。年4回の議会では、日々の暮らしから生まれてくる疑問や課題、市民の方からの声を一般質問や、委員会の質疑で取り上げてきました。

私自身が子育て中ということもあり、子どもに関わる問題を多く扱ってきました。共働き世帯やひとり親家庭の増加、貧困、虐待、ヤングケアラーの問題など、さまざまな問題が複合化し、行政の一つの窓口だけでは解決できないことも多くあります。学校と福祉の連携ももっと必要ですし、地域や市民活動とのつながりもつくっていかないといけないと感じています。

子ども食堂や学習支援などの活動に関わる中で、子どもたちとその世帯が抱えている問題は、その

家庭だけでなく社会の全体の問題だと気づきました。一つひとつをどう解決していくのか。丁寧に情報を集め、制度を調べ、足りない部分を行政に要望していく活動にしっかりと取り組んでいきます。



### 生活者ネットワークの3つのルール

#### ● 議員は交代制（ローテーション）

議員は2期8年で交代し、議員を特権化、職業化しません。たくさんの市民が交代で市政に関わり、市民自治の広がりを目指します。任期を終えた議員はその経験を活かし、地域での活動を続けます。

#### ● 議員報酬は市民の活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパによって支えられています。議員も報酬に応じた寄付を行ない市民の政治活動に活かします。会計は公開し、政治資金の透明化を図っています。

#### ● 選挙はカンパとボランティアで

活動を支援する人たちみんなで、お金（カンパ）と知恵や労力を出し合い選挙を行ないます。

## 『自分らしく』 地域で暮らすために

奥村 さち子



府中の福祉に携わるNPO法人で、13年間たすけあいの活動をしてきました。子育てや介護のケアを通して、日々の暮らしの中にはさまざまな課題があることを実感しています。

孤立した子育て、老々介護、高齢での一人暮らし、家族介護の困難さなど、さまざまな場面で生活のしづらさに直面した時は、地域のつながりこそが解決の糸口だと感じ、地域でたすけあうしくみとしての「お互いさまのケア」や「居場所づくり」の活動を進めてきました。

超高齢化が進む一方で国の介護保険制度は変わり続け、利用の制限は増え、十分な自立支援のサービスにはなっていません。私たちが自分らしく、安心して地域で暮らし続けるためには、市民の参画による柔軟なサービスが必要です。

一人ひとりの生活に寄り添い、孤立することのない地域社会の実現に向けて、必要なしくみを市民目線で創り上げ、公的制度のあり方に地域から声を上げていくことが必要だと考えています。

心豊かな地域社会を次世代につなげるために、実りある活動を進めていきたいと思います。

市民の声を  
とどけてね！

2期8年議員を務めた  
田村智恵美は  
奥村さち子へと  
バトンタッチします



まかせて  
ください！